上　級

1. 初動対応
2. 収容避難者と避難所運営
3. 要援護者支援
4. 被災地域への支援
5. 次の世代のために

6強の被害と消防力（相場観では・・）

標準的な消防・救急搬送力

人口1000人あたり1人
1万人あたりでは
署員10名（2交代とすると5人）
→消防車1台

人口	10，000	人
世帯数	4，000	世帯
木造棟数	3，000	棟
全壊	900	棟
倒壊	90	棟
生埋め	90	人
重傷者	45	人
⇒死者	15	人
出火件数	6	件

初動活動事例

住宅地で何が起きているのか？

～被災者の心～

監修：東京大学社会情報研究所　廣井修教授（故人）

初動対応の目標

●救出・救護・初期消火などの安全確保がテーマです。

・死者は？
・初期消火は？
・生き埋め、閉じ込め者は救出できますか？
・行方不明者はいませんか？

●目標の設定

・死者はゼロ
・延焼火災もゼロ
・生埋め者・重傷者を○時間内に救出・医療機関へ
・住民の安否を○時間内に確認

●死者	ゼロ
●延焼火災	ゼロ
●救出救護	？時間以内
●安否確認	？時間以内

救出救護

●救出救護はできますか？

・生き埋め閉じ込め者の救出

・救出した重傷者を、どこに、どうやって連れて行きますか？

皆さんで議論を（問題は？対策は？）

	課　題	対　策
救出救護	… … … … … …	… … … …
初期消火		
安否確認		

初期消火

●初期消火はできますか？

皆さんで議論を（問題は？対策は？）

	課　題	対　策
救出救護	… … … … … …	… … … …
初期消火	… … … … …	… … …
安否確認		

安否確認

●行方不明者はいませんか？

皆さんで議論を（問題は？対策は？）

	課　題	対　策
救出救護	…　…　…　…　…　…	…　…　…　…
初期消火	…　…　…　…　…	…　…　…
安否確認	…　…　…　…	…　…　…

課題・対策のまとめの例

救出・救護：

・町会ごとに救助班（若い方の参加を）と訓練
・救命講習
・担架、軽トラック等の借用準備
・行政との通信手段（どこに運べば・・）
・医療経験者の協力、救護班（集会所などで軽傷者）

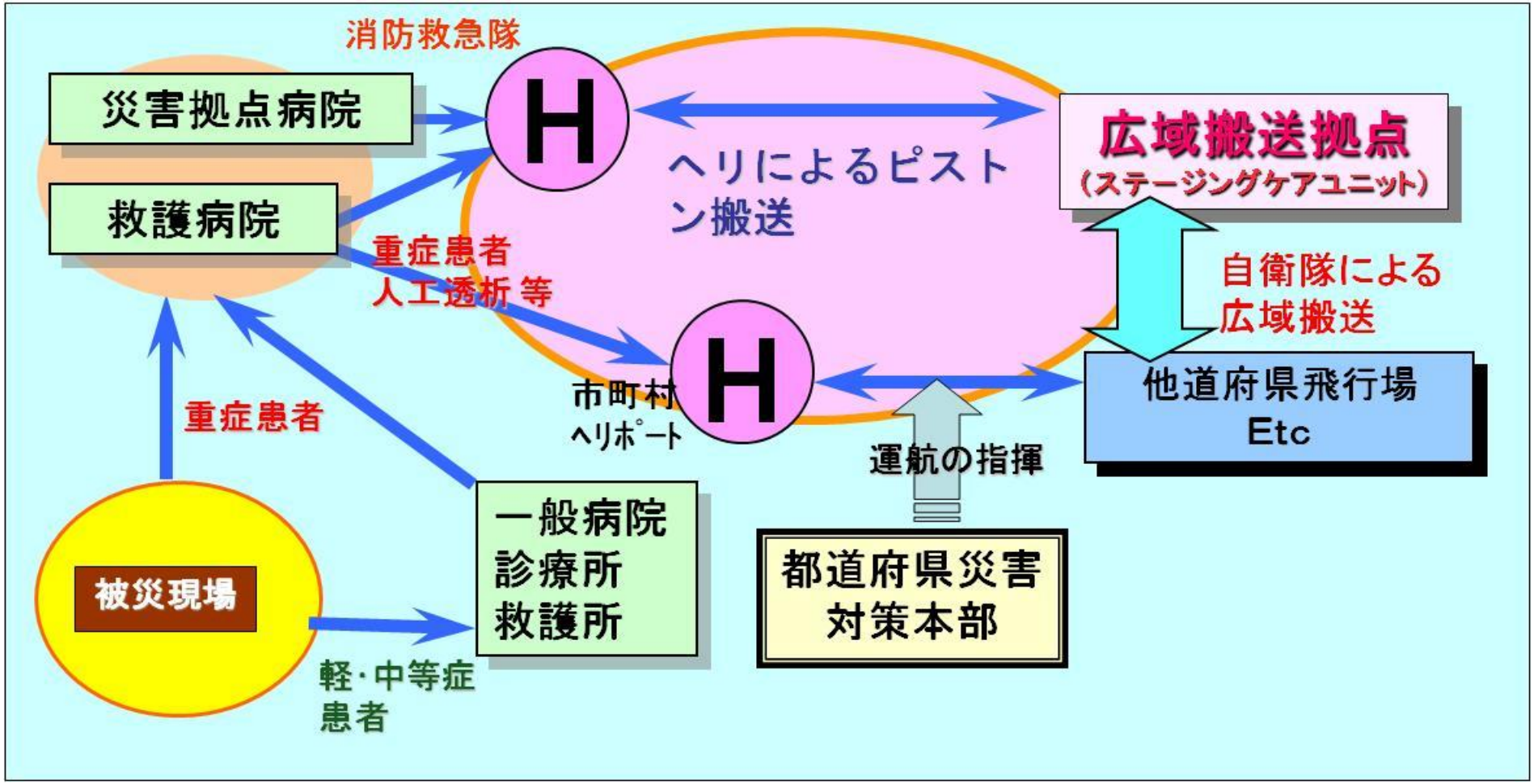
初期消火：

・各家庭に消火器を、浴槽に溜め水を
・可搬式ポンプの訓練
　地域（町会・班単位）で操作できるように
・訓練の徹底
・可搬式ポンプの増設

安否確認：

・漏れのない確認方法
・「家族→近所→町会」の徹底

補足１　広域搬送計画を理解していますか？



被災現場には自分たちしかいない！！

・救急車は来ない

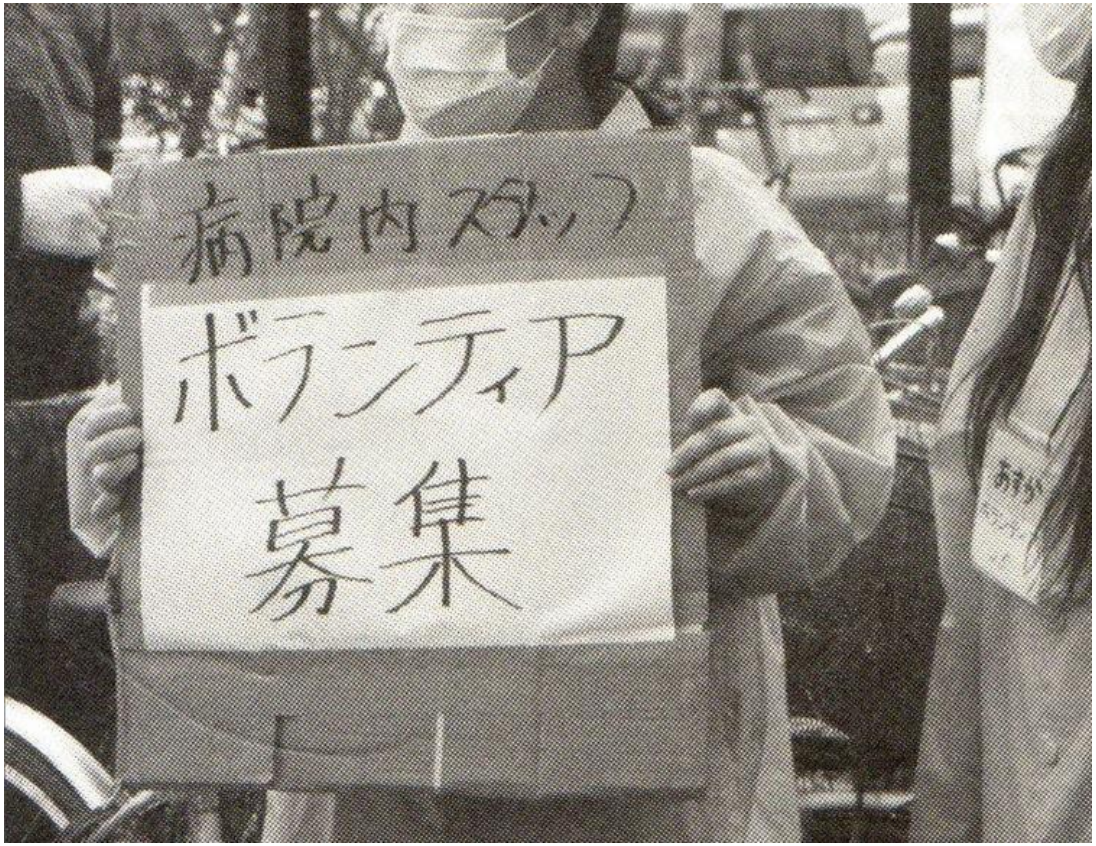
補足２　災害時の病院の状況（震度６強）

新潟県中越地震
小千谷総合病院の被害

（参考になる教訓が多く含まれています）

全日本地震防災推進協議会
静岡市駿河区曲金
TEL：054－284－1865

災害時の病院の状況（石巻赤十字病院）

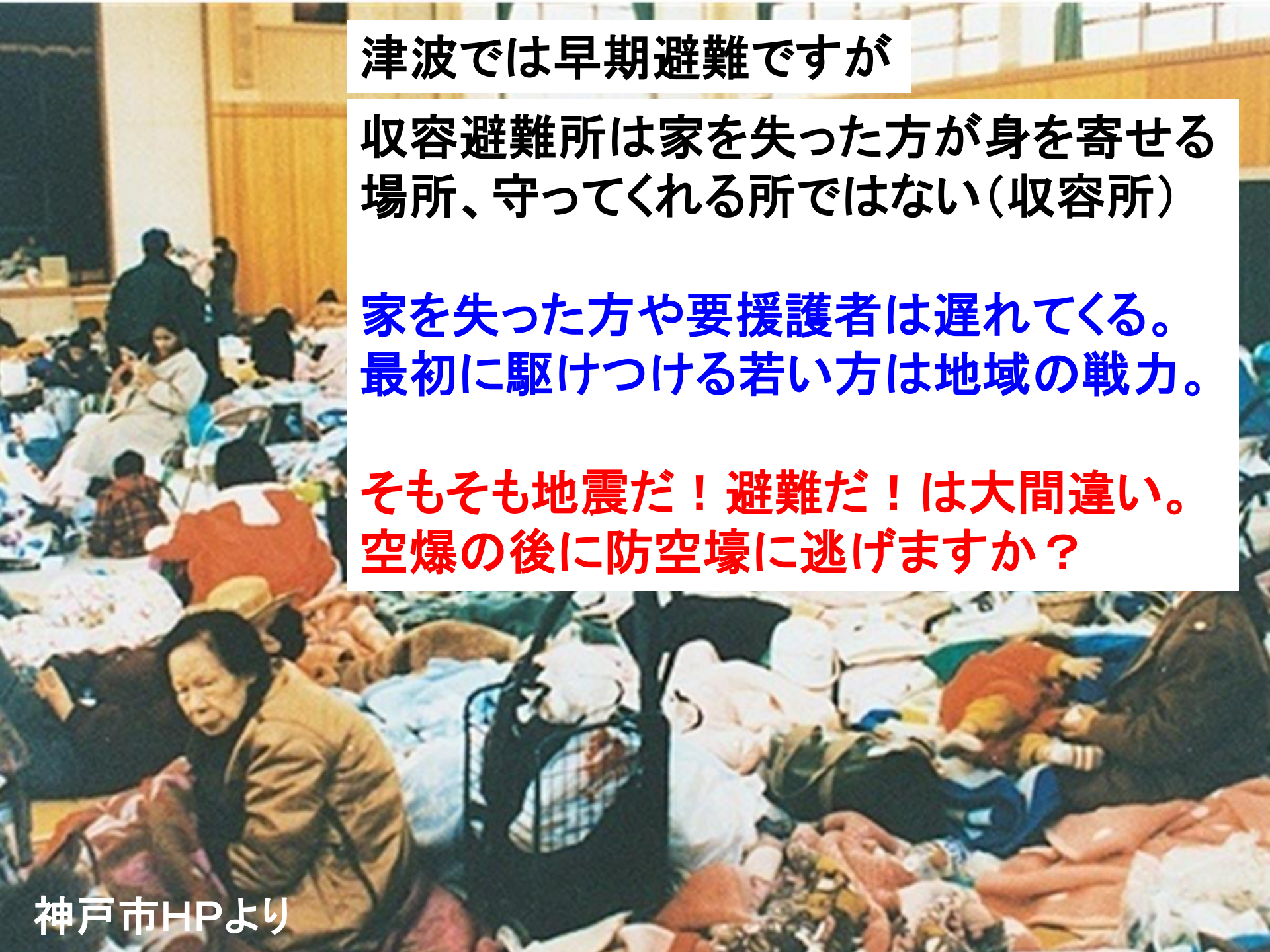


石巻赤十字病院、気仙沼市立病院、東北大学病院が救った命
監修　久志本成樹

- ●医師・看護師のみならず、**スタッフが不足**
- ●職員の高校や中学の子供たちが掃除や荷物運び
- ●病院を頼るなら、**病院への支援が必要**

上　級

１．初動対応
２．収容避難者と避難所運営
３．要援護者支援
４．被災地域への支援
５．次の世代のために



津波では早期避難ですが

収容避難所は家を失った方が身を寄せる場所、守ってくれる所ではない（収容所）

家を失った方や要援護者は遅れてくる。
最初に駆けつける若い方は地域の戦力。

そもそも地震だ！避難だ！は大間違い。
空爆の後に防空壕に逃げますか？

神戸市HPより

収容避難者とは？

収容避難者はどんな人？
・自宅を失った方
・自宅では生活できない方

どんな人	何人
・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・	
合計	人

収容避難者とは？

予想される収容避難者は何人？

どんな人	何人
・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・	・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・
合計	・・・ 人

家を失った方や要援護者は遅れてくる！
早く来た若い方は地域へ出動（戦力）！

避難所担当職員

避難所の担当職員は？

・避難施設１か所あたり数名
・ただし、担当職員も被災者、近隣に在住していない方も
・所属部署の災害対応も戦力不足
・交代勤務を考慮すると１～２人・・実質は連絡役

↓

避難所運営は地域で協力して！

避難所運営の仕組み

避難所運営の鍵は町会

個人・家族　（班）⟷ 町会 ⟷ 避難施設

①スペース配分
- 基本は町会ごとにスペースを事前に決めておく
- 避難施設運営の班は原則として町会単位

②飲食糧のニーズ
- 家族（避難者・在宅者）→ 町会 → 避難施設 → 市

③飲食糧の配布
- 家族（避難者・在宅者）← 町会 ← 避難施設 ← 市

※ボランティアのニーズと調整も同様

④広報誌の配布
- 家族（避難者・在宅者）← 町会 ← 避難施設 ← 市

避難所に行かないと損をする？？

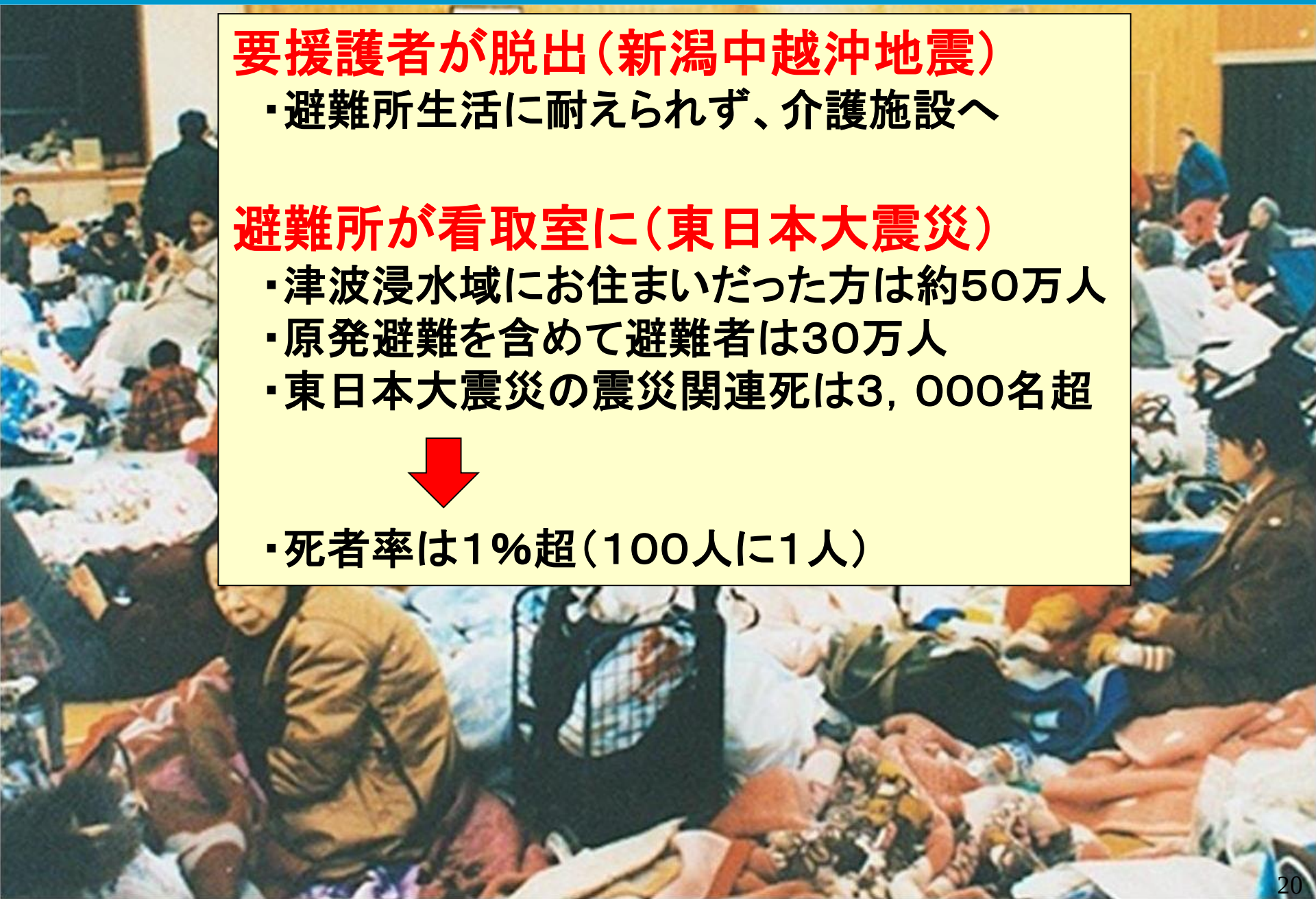
→ 町会が被災者（収容避難者＋在宅被災者）を把握し等しく対応

上　級

1．初動対応
2．収容避難者と避難所運営
3．要援護者支援
4．被災地域への支援
5．次の世代のために

避難所では

避難所では



要援護者が脱出（新潟中越沖地震）

・避難所生活に耐えられず、介護施設へ

避難所が看取室に（東日本大震災）

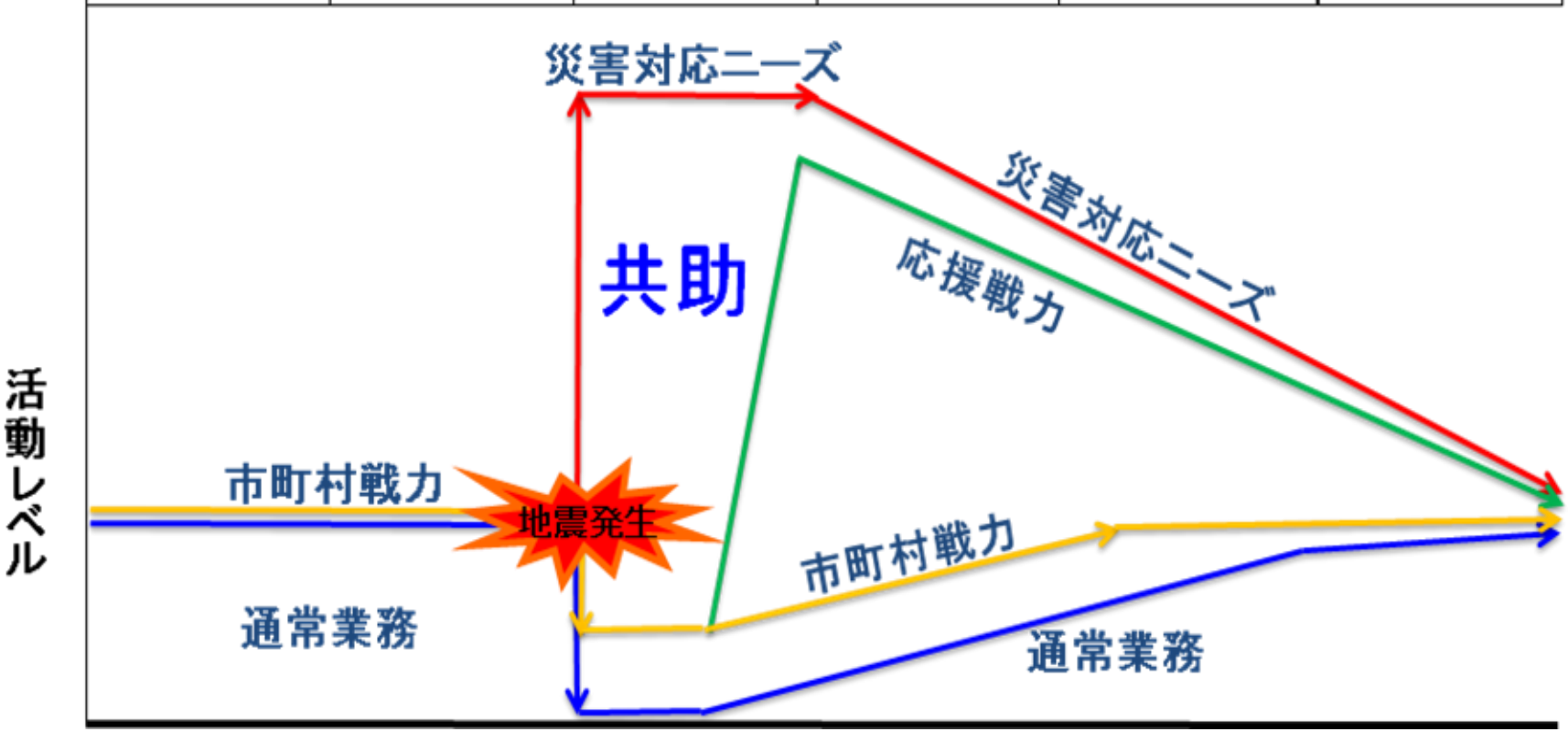
・津波浸水域にお住まいだった方は約50万人
・原発避難を含めて避難者は30万人
・東日本大震災の震災関連死は3，000名超

↓

・死者率は1％超（100人に1人）

共助の必要性（行政の戦力が足りない）

平常時	警戒期	初動期	緊急対応期	復旧期	生活再建
●防災計画 ●被害抑止対策 ●防災意識向上 ●自主防活性化 ●訓練	●危険早期把握 ●観測情報～警戒宣言周知 ●予防対策 ●安全な避難	●拠点の立上げ ●緊急応援要請 ●道路啓開 ●救出・救護 ●消火 ●安否確認 ●安全確保	●避難所運営 ●要援護者支援 ●飲食料配布 ●生活物資配布 ●広域応援要請 ●応急復旧 ●建物被害調査 ●罹災証明発行	●がれき処理 ●施設の復旧 ●仮設住宅建設 ●生活支援策の実施 ●事業再開支援策の実施	●復興まちづくり



要援護者支援はできるのか？

避難所の担当職員は？

・避難施設1か所あたり数名
・ただし、担当職員も被災者、近隣に在住していない方も
・所属部署の災害対応も戦力不足
・交代勤務を考慮すると1～2人・・実質は連絡役

在宅介護事業者は？

・ケアマネも被災、かつ近隣に在住していない
・ヘルパーはすぐには動けない

↓

・要援護者支援は原則「公助」である。しかし、
・災害時には対応力が低下（応援体制は時間が必要）
・3日～1週間を目標に地域で頑張る。

災害時要援護者とは？

支援がなければ命の危険のある方はだれ？
・乳幼児、妊婦、けが人、要介護者、
障害者（身体、知的、精神）、高齢者・・・・・
どこで、誰が、どんな支援を行うのか？

要援護者	何人	どこで	誰が支援
けが人 要介護 乳幼児 ・・・・・・		・在宅 ・親類 ・避難所 ・病院 ・福祉施設 ・疎開	

この仕組みが出来ている？

災害時要援護者支援の備えは？

・私たちは何ができるか？何をすべきか？
・だから事前に（今、準備すべきことは？）

●安全確保
●所在確認
●支援活動

準備すべきことは？

①・・・・・・・・・・
②・・・・・・・・・・
③・・・・・・・・・・
④
⑤

要援護者支援の協力体制の考え方

●在宅難病者：行政＋医療機関＋協力団体 ⇦ 地域が協力

●一般の在宅の要援護者

・初日は地域が中心的に

　・安全確保と所在確認（自宅、避難所・・・）

・２日目には施設や在宅介護事業者も参加して

　・ただし戦力は低下している

　・２日目には（出来れば初日に）ケアプランが地域の届く

・３日目～１週間で全国からの支援者も参加して

　・行政、社協の調整

・出来るだけ早期に平常時に戻る

※ただし、ボランティアセンターを社協だけで運営する事は困難

地域から参加が必要

↓

市町村全体の要援護者支援体制の仕組み

ボランティアセンターの運営の仕組み

要援護者支援の課題

●地域では

◎救護班・要援護者支援班をどれだけ充実できるか

・自主防災―要援護者支援班（介護経験者など）
　　―救護班（看護師経験者など）

●市町村は

◎市町村の要援護者支援の仕組みと協力体制

・難病者・有病者の支援計画（職員は参集出来ないことも）

・都道府県を通じて全国の自治体（協定先自治体を含む）への専門ボランティアの要請と受け入れ計画

●社協は

◎平常時の協力関係の活用

・県社協を通じた全国からの専門ボランティアの受け入れ

・地域、市町村と協力したボランティアセンターの運営

↓

各組織の対応力の向上

要援護者支援の課題

地域の要援護者支援力の強化

①地域での災害時要援護者数は？
②受け入れ可能施設と収容可能人数は？
③支援のための地域の戦力は？
　　・受け入れ可能施設で
　　・在宅で
④在宅難病者の支援

＋

町会の災害対応力の強化

町会の役割は

避難所運営の鍵は町会

個人・家族　（班）⟷ 町会 ⟷ 避難施設

①スペース配分
- 基本は町会ごとにスペースを事前に決めておく
- 避難施設運営の班は原則として町会単位

②飲食糧のニーズ
- 家族（避難者・在宅者）→ 町会 → 避難施設 → 市

③飲食糧の配布
- 家族（避難者・在宅者）← 町会 ← 避難施設 ← 市

※ボランティアのニーズと調整も同様

④広報誌の配布
- 家族（避難者・在宅者）← 町会 ← 避難施設 ← 市

↓

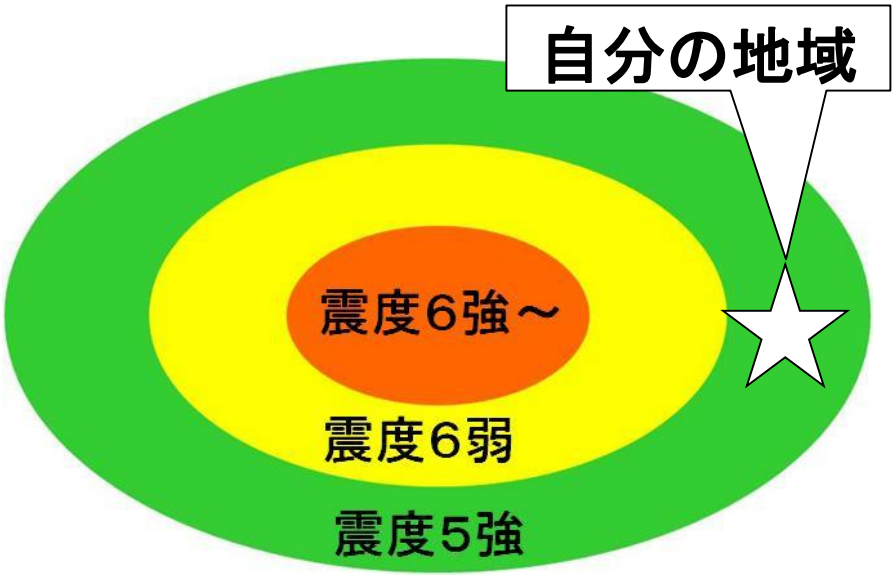
在宅の要援護者支援の最前線も町会になる

上　級

１．初動対応
２．収容避難者と避難所運営
３．要援護者支援
４．被災地域への支援
５．次の世代のために

被災地への支援

甚大な被害がでた地域は支援を必要としています。
その周辺ではどんな支援活動が可能でしょうか？

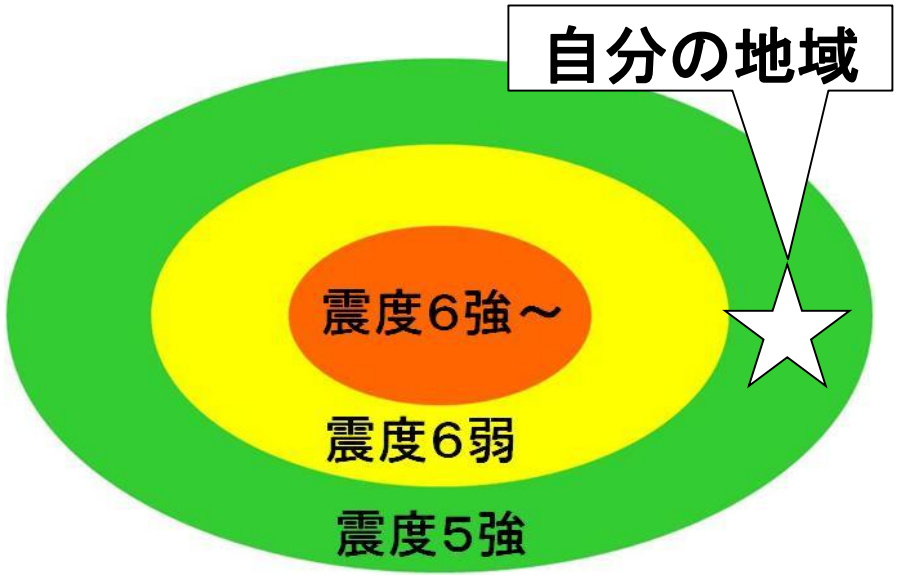


どんな支援が必要か？

…　…　…　…　…
…　…

被災地への支援

甚大な被害がでた地域は支援を必要としています。
その周辺ではどんな支援活動が可能でしょうか？



どんな支援が必要か？

…　…　…　…　…
…　…

どんな準備が必要か？

…　…　…　…　…

上　級

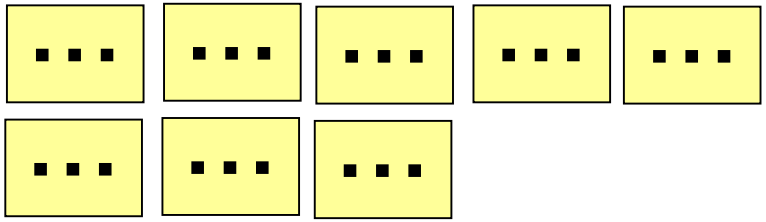
１．初動対応
２．収容避難者と避難所運営
３．要援護者支援
４．被災地域への支援
５．次の世代のために

次世代のために

大規模地震が来るまでに30年あると仮定して、子や孫にどんなまちを残してあげたいですか？

今後30年に●●地震が発生する確率は〇〇％です。
30年にないに発生しないこともあります。
30年経ったその時、今後30年に地震が発生する確率はさらに大きくなっています。

どんなまちを？



次世代のために

大規模地震が来るまでに30年あると仮定して、子や孫にどんなまちを残してあげたいですか？

今後30年に●●地震が発生する確率は〇〇%です。
30年にないに発生しないこともあります。
30年経ったその時、今後30年に地震が発生する確率はさらに大きくなっています。

どんなまちを？

… … … … …
… … …

どんな準備が必要？

… … … … …